

平成30年度のスタートにあたって

H30. 4. 2 日光市立大室小学校 本間 和敬

- 学校教育目標
- 1 よく考え学ぶ子（知育）
 - 2 思いやりのある子（徳育）
 - 3 元気でよく働く子（体育）



- 【目指す児童像】
- ・ 学習に進んで取り組み、最後までやり遂げる子<考える子>
 - ・ 思いやりを持ち、友だちを大切にできる子<やさしい子>
 - ・ 進んで働き、自ら体をきたえる子<じょうぶな子>

【目指す学校像】 誰もが輝ける学校

1 誰も（児童）が輝ける学校とは・・・

(1) わかり合える仲間、友だちがいる学校 → 輝きを支えてくれる仲間

- ① 思いやりのある児童
よさやがんばりを素直にたたえ合える仲間
- ② 人権が尊重される居がいのある場所
いじめ・仲間はずれを許さない雰囲気、自分が役に立っている実感がある



(2) 親身になってくれる先生がいる学校 → 輝く喜びと勇気をくれる先生

- ① 児童理解に基づいた温かみのある指導
子どもの成長を信じる、最後まで見届ける、寄り添った指導（児童指導は最後まで諦めない）
- ② 児童の思いを叶える先生
学級経営を基盤とした、「できた」、「わかった」、「楽しい」指導のため、資質能力の向上
- ③ 地域・保護者と連携する
保護者の思いや家庭環境を知る、地域の教育力を生かした大室らしい取り組み（地域の利点）

(3) 学校に来る目的がある → 自分が輝ける時間がある学校

- ① 勉強ができるようになりたい
わかる授業（アクティブラーニングの視点を活かす）、協同学習、個別指導の充実
- ② 仲間と過ごす時間が楽しい（係活動、児童会活動、学校行事、放課後の活動等）
特別活動における児童の活躍の場、縦割り班を生かした異学年による学び
- ③ 夢の実現のために、自分を高めたい（小学校におけるキャリア教育の充実）
生きる力の育成、知徳体のバランスのとれた児童



2 教職員が輝ける学校とは・・・ → 子どもを伸ばす喜びを感じられる学校

- (1) 職場が明るいと感ずることができる
思いやりのある言動、自分の意見を主張できる、相談できる雰囲気
- (2) 仕事への充実感を感じることができる
児童や同僚とともにやり遂げた充実感、児童の笑顔から得られる喜びがある
- (3) 安心して勤めることができる
危機管理、報告・連絡・相談の徹底（初動の対応が問題の難易度を決める）
- (4) 同僚と協働して取り組むことができる
児童指導、学習指導等一人で悩まない（チームとして対応、OJTを重視して・・・）
全体に関わる仕事から進める（人間力）、他人が困っていたら声をかける、支え合う
「間を埋める教師」 教師間の・・・子ども間の・・・保護者間の・・・

3 地域や保護者が輝ける学校とは・・・ → 子どもとともに輝ける喜びがある学校

- (1) 学校支援ボランティアさん、地域コーディネーターさんをはじめとした地域人材や保護者の教育力の活用、来るのが楽しくなる学校（子どもや教職員の笑顔と挨拶の響く学校）
- (2) 保護者が主体的に作り上げるPTA活動、保護者がPTA活動や学校との関わりを通して子育てを実感できる学校（地域に開かれた学校から、地域とともにある学校への転換）
- (3) 児童が感謝の気持ちと誇りを持って卒業できる学校（居がい感のある学校）
- (4) 地域の拠点として、支えたい学校（いつでも地域と支え合える学校）

4 それでは ～みんなが輝ける学校づくりのために～

- ・ 具体的な行動として 「時を守り（時間）、場を清め（整理）、礼を正す（あいさつ）」
- ・ 大室スタンダードの共通理解と確実な実践（一人やらないと児童指導は効果を失う）
- ・ 学ばせる環境と子どもの期待感が授業を作る・・・これからの学級開きが1年の勝負です